

RKM会報

Vol.17

2018年9月発行

編集・発行：RKM 幹事会事務局：桑水流正邦（くわするまさくに） 〒132-0035 東京都江戸川区平井 4-26-9 渡瀬方
メールアドレス：rkm634@rkm634.jp
ホームページ http://rkm634-jp.sakura.ne.jp/

平成30年度総会報告（2018年6月6日）

本年も日本教育会館（神田一ツ橋）にて18時30分から開催しました。出席者は、25期から新入会員の92期まで総勢43名が集まりました。92期8名のうち楠田友春君、福地晴也君、松浦具輝君の3名が出席してくれました。

総会の部は、この一年間に亡くなられた2名の御冥福を祈り黙祷を捧げた後、新入会員の紹介、36期久我昭雄会長の挨拶で始まりました。つづいて幹事会から「平成29年度活動報告と平成30年度活動計画案」および「2017年度会計報告・監査報告・剰余金処分案、2018年度予算案」が報告・提案され、拍手をもって承認されました。（これらの詳細は同封の資料をご覧ください）

会長挨拶

今年は、中学生と中学生のコーチをどう支援できるかという話を話させていただきたいと思います。



久我会長

武蔵の中学のバスケット部は、ずっと武蔵卒業のRKM会員、特に学生が、いわばボランティアとして引き受けてきました。おそらくRKMの90年間のほとんどがそうであったのでは？と思うくらいです。コーチを引き受けられた方々のご苦労や、成功・失敗の体験、様々なお話がRKM90年の長い間にたくさん含まれていると思います。

わたしたち36期は、29期の大塚弘介先生に3年間ずっと教えていただきました。

また、同期の池田武蔵学園副理事長は40期台の数年間指導に当たり、その息子63期の祐一先生も68期前後のコーチをされていました。LIXIL会長、53期瀬戸欣也さんも学生時代に中学コーチを引き受け、成功も失敗も経験したそうです。

そして教えられた中学生も、コーチに特別な感情を持って、

今でも感謝と尊敬の気持ちを忘れていないという話も聞いたことがあります。

最近では、78期、武蔵高校の木本先生や87期の高木さん、現在のコーチ86期の宇野さんたちから、中学コーチを引き受けた人が、どう教えたらいいか迷っているとの相談を受けたこともあります。確かに、畑バスケットを何年も経験し、自分のバスケットを作り上げた諸先輩は恵まれた環境にありましたが、そうもいなくなってきたと思います。

そうした歴代の中学コーチや生徒の声をまとめて、RKM100年をまとめてみると、貴重な記録ができるのではないのでしょうか。もちろん記録だけでなく、現在我々RKMが、中学生やコーチを支援できるには、何が重要なかが重要だと思います。

これまで、41期の新津さんにコーチの手助けを願ったり、29期の川浪さんに特別講習会を開いてもらったりもしてまいりましたが、もっと我々が手伝えることはないのか、幹事をはじめ皆さんのお力を借りたいと思います。たとえば試合の応援ですが、これは私も家庭の事情で行けない状況で誠に申し訳ありませんが…

さらに、これまで中学のコーチを引き受けた方々は、多分費用負担もたくさんあったのではと思います。中学生の環境づくりを支援し、コーチの負担を軽くするためには、RKM



中学コーチ86期宇野さん、中村さん



29期佐室・三輪・大澤・川浪さんと92期楠田・福地・松浦さん

として新たな金銭負担が必要なのかもしれません。これらの問題は幹事会の中で議論して、知恵とあるべき方向性を出していただきたいと思いますが、新たな金銭負担というのも簡単に納得頂けるものではありません。趣旨に賛同してくれる方々に期待して、中学生とコーチ支援基金という特別寄付を募る方法もちろん考えられますが、木本先生や現宇野コーチを中心に、現役生徒さんたちがRKMというものをもっと身近に感じ、卒業してRKMに入った時に、もれなく会費を納めるにはどんな手をつかったらいいか、新しい方策を考えだしていただきたいと思います。

幹事会報告（要約）

決算では、平成29年度も単年度黒字で約93万円の剰余金を残すことができ、今年も現役支援金として20万円を贈呈することができました。また、100年史発刊基金積立金も7年間の継続で70万円となりました。

平成30年度の活動計画は、3本柱の「現役支援・交流」、「会報・HPの充実」、「100年史およびアーカイブ活動の推進」に加え、高校にもつながる中学生強化のため「中学コーチへの支援（指導技術・金銭）」を検討することとしました。

懇親の部は、最年長出席者の25期平野精土さんの乾杯で幕を開けました。

まず、現役活動報告として78期木本健一コーチから高校の練習・試合

の様子をビデオを見ながら説明があり、RKM会員の皆さんには、試合会場での応援も是非よろしくとのお願いもありました。また、「現役支援金は、毎年約50万円かかる筋トレ・トレーナー費用の一部として活用している」との報告もありました。先輩方からは、「メールでの試合報告も楽しみにしている」との言葉も聞かれました。中学の活動報告



25期 平野さん

は86期の宇野宏泰コーチと同期の中村海コーチから練馬大会の様子などが報告されました。

この後、「高校が強い学年には、中学時に良いコーチがいた」と会場からの声で、31期・32期の中学コーチであった26期清水幸さんと43期(インターハイ出場)の中学コーチ36期池田康夫さんが当時の苦労話や中学生の基礎づくりについて話され、中学コーチの重要性が改めて認識されました。ここで、久我会長から「中学コーチから要望された現役に製氷機を購入すること」について緊急動議がだされ、出席者皆さんからの承認を得ました。

また、29期の川浪茂男さんから、「ことしの新会員は逆立ちできるか?」との問いかけがあり、何かと思ったら「92」を逆にして「29」ということで、孫の世代との交流を図るきっかけにしていました。その後29期の三輪勝久さんが92期の3人にパスやドリブルについて熱心に話をされているのが印象的でした。

引き続き会員近況報告として、41期落雅美さんから学校同窓会新会長に就任することについて、息子さんが中学部員の62期小林央さんから現役父兄代表としての挨拶、36期鹿子木雅さんからRKMゴルフ会の案内などが話され、活発な交流が行われました。会場には、日経ビジネス誌18年5月21日号から始まった経営教室「反骨のリーダー」の第1回として53期瀬戸欣哉さんLIXILグループ社長兼CEOの記事が掲示され、その中に畑語録にある「へばつたらがんばれ」や瀬戸さんが中学コーチの経験から得た教訓などが記されているのを熱心に読んでいる人も見られました。

最後は恒例の集合写真を撮影して今年度の総会をお開きとしました。



現役支援金贈呈 木本コーチ、久我会長



右から 26期清水さん、32期印南さん、佐室さん、羽根田さん



36期鹿子木さん、25期平野さん、31期東さん、32期印南さん



新入会員 92期 紹介 (楠田 友春)

私達 92期は中学14名、高校では少し減ってしまい8名で活動していました。

中学では 87期の高木コーチを中心に木本先生や同じく 87期の守田さんを始め幅広いOBの方々にご指導いただきました。春休みには久々となる中学単独での合宿を行い、2泊3日の日程で山崎先生にご指導頂きました。夜練も行い、85期のOBの方々を相手に全く歯が立たなかったのを覚えています。オールコートの2-2-1ディフェンスを中心に守り勝つチームでしたが、練馬区大会で勝ち上がることはできませんでした。

高校バスケット部に入部すると、高校生のレベルの高さを痛感しました。

91期が最高学年になると練習が月水金の週3日から月水木金の週4日に増え、練習は一層ハードになりました。

私達が最高学年になってからは、ほかの代に比べ、三学年が一丸となって強いチームワークで日々の練習や試合に臨めました。私はキャプテンを務めましたが、最初から最後まで後輩含めチームメイトに助けられてばかりでした。チームとしては格上の相手に対して臆することなく戦うことを強く意識しメンタル、技術の両面

を日々の練習で培いました。

2-2-1のオールコートディフェンスを軸に1-1-2-1などのディフェンスを織り交ぜながら試合では戦い、春の関東大会予選では都ベスト 32に入ることができました。

目標であったベスト 16にあと一步届かず今でも少し悔しきではありますが、大好きなバスケットをこのチームメイトと共に続けられたことは生涯の財産です。

RKMの皆様、毎回練習を見て頂いた木本先生、津田先生、そしてどんな時でも気にかけて頂き熱い指導をしてくださった山崎先生にこの場を借りて御礼を申し上げます。今後はRKMの一員として現役時代にお世話になったように現役世代の力に少しでもなれればと思っております。



前列左から安達、柴田、吉田、副CAP福地、CAP楠田、林田、原田、マネージャー松浦。中列は93期、後列は94期。

2018年インターハイ予選 3回戦 観戦記 (87期 高木 優)

高校公式戦試合結果/高三 93期

新人戦 第4支部大会

2017年 10月 29日	武蔵○	77-57	●東大附属
2017年 11月 3日	武蔵○	110-82	●都多摩
2017年 11月 5日	武蔵○	78-55	●錦城
2017年 11月 12日	武蔵●	48-74	○帝京

5回戦敗退

新人戦 本大会

2018年 1月 6日	武蔵●	64-89	○都足立
-------------	-----	-------	------

関東大会予選 Aブロック

2018年 4月 15日	武蔵○	72-62	●都松原
2018年 4月 29日	武蔵○	80-65	●都足立西
2018年 4月 30日	武蔵●	77-112	○世田谷学園

4回戦敗退

インターハイ予選 Dブロック

2018年 5月 20日	武蔵○	111-52	●都大森
2018年 6月 3日	武蔵●	52-77	○帝京八王子

3回戦敗退

武蔵 52-77 帝京八王子

武蔵のスタートは#4渡辺、#5田中、#6濹谷、#8猪俣、#14福岡。

1Q 12-8

立ち上がりはどちらも外からのジャンプシュートが入らず低調な滑り出し。帝京八王子はスティールからの速攻で得点を重ねるのに対し、武蔵は#5田中、#14福岡のオフেন斯拉バウンドを中心に加点していく。

中盤に相手が1-3-1のゾーンへ変更すると、ゾーンダウンに苦戦し、得点が停滞。どちらもロースコアで第1Qを終える。

2Q 18-29(6-21)

相手の1-3-1をなかなか崩せず苦しい展開が続く。ゴール下を固められ、オフেন斯拉バウンドが取れず思うように得点ができない時間となるが、ハーフディフェンスでは相手にフリーなシュートを打たせず、膠着状態。

残り5分、均衡を破ったのは帝京八王子。スリーを含むジャンプシュートで連続得点されると、そこから武蔵のオフেনスマスが続き、速攻による追加点で大きくリードを許し第2Q終了。

3Q 34-57(16-28)

相手のゾーンを崩せず武蔵が攻めあぐねる中、帝京八王子は速攻で得点を重ねる。

武蔵はオールコートプレスでなんとかチャンスを作り追いつがるも、相手のジャンプシュートが少しずつ入り始め、なかなか点差が縮まらない。

#4渡辺が3Pを2本を決め、なんとかついでに第3Q終了。

4Q 52-77(18-20)

最終 Q、立ち上がりにはオフェンスミスが重なり、速攻でさらに点差を広げられる。

オールコートプレスのパスカットから #6渋谷がチャンスを作るも、前がかりなオールコートディフェンスの裏を冷静に狙われ、相手の得点を止めることができない。残り 3分を切ったところで #5田中が無念にも退場。残りの時間、全員で必死にゴールを狙いに行くも力及ばず、試合終了。

第 4Q最後までボールを追いかける姿には気迫があり、実力以上に差がついてしまったのが残念な印象。フリースローがもっと入っていたら、もっと相手の速攻を止めることができている、などと振り返る点はいくつもあるが、中学生としてバスケット部に入部した頃に比べ、それぞれ成長した部分が見える試合だった。大会を通して得点の中心となった #4渡辺、#5田中、#6渋谷のほか、#7大西はリバウンドで頼りになり、#8猪俣は相手のエースを止める優秀なディフェンダーとして、#9岡田、#10南向はゲームに新しい流れをもたらすプレイヤーとして活躍した。

高 3は高校バスケットは引退となるが、今後もプレイヤーとして、また後輩を育てる OBとしての活躍を期待したい。

高 2は今年出場機会を得られた選手も多いため、この敗戦を来年度のチームづくりの糧としてほしい。(以上)

中学生支援について

1. 技術支援

今年の RKM総会で話題となりました中学生強化について、総会の場で中学コーチの宇野宏泰さん(86期)・中村海(86期)さんから 2015年度にもご指導いただいた JBA公認コーチ資格を持つ新津さん(41期)に依頼があり、新津さんの快諾を得て早速 7月 17・18・25日の 3日間、1-2年生を対象とした特別練習が行われました(中3は夏休み以降は高校生の練習に参加)。

今回のテーマは、練習の心構え(実践で使える技術の習得・習慣化)と、基本動作である、足の使い方、ドリブル、リバウンドの最高点での取り方、短いシュートなど。酷暑の中、熱中症に気をつけ給水タイムをとりながらの指導に、新入中1生も真剣に話を聞いて体を動かしていました。

- ビデオカメラの脚立
- パイプ椅子 8個
- バランスボール 4個
- バランスディスク 2個
- バレーボール 10個 (ボールハンドリングに関するコーディネーション能力(運動神経)のトレーニングに使う予定)
- クーラーボックス 1個
- iPad/撮影機能付き大型タブレット (大容量旧型・練習や試合時にすぐ見るための動画撮影用)

注:当初検討していた製氷機は授業・高校バスケット部用のものを中学生も利用することが出来ました。



2. 環境支援 (費用10万円支援)

中学顧問・川端拓信先生(理科)、通堂あゆみ先生(社会)およびコーチ陣と相談し、下記の練習器具道具を購入予定です。高校支援とは別口座にて顧問の先生に管理して頂きます。



<中学>

2017年度練馬区ジュニアカップ(1年生) 大会(2Q制)

2018年 1月28日 武蔵○ 43-19 ●早大学院中
2018年 1月28日 武蔵○ 33-14 ●大泉二中
2018年 1月28日 武蔵○ 30-11 ●貫井中
2018年 1月28日 武蔵○ 34-17 ●都大泉中
優勝

春季三区合同大会

2018年 4月22日 武蔵○ 60-47 ●光が丘二中
2018年 4月29日 武蔵● 32-74 ○南中野中

中学生総体 練馬区予選

2018年 6月10日 武蔵○ 48-47 ●学芸大付属国際中
2018年 6月17日 武蔵● 30-81 ○石神井西中

東京私立中学校バスケットボール大会(第34回)

男子・新人戦 2018年 8月20-24日
予選リーグ

武蔵○ 72-40 ●麻布
武蔵○ 39-28 ●日大二
武蔵○ 62-37 ●城西大城西

武蔵○ 39-23 ●帝京大 (Gαブロック1位)
 武蔵● 30-52 ○足立学園
 武蔵○ 56-38 ●かえつ有明 (Gブロック2位)

決勝トーナメント

武蔵○ 63-34 ●世田谷学園
 武蔵● 45-58 ○國學院久我山

2回戦敗者戦

武蔵○ 35-31 ●八王子 (66校中5位)

練馬区民大会

予選リーグ Eブロック 2018年8月19日

武蔵● 26-30 ○南が丘
 武蔵○ 26-17 ●大泉西
 武蔵○ 22-10 ●石神井 (Eブロック2位)

決勝トーナメント

2018年8月25日 武蔵○ 56-43 ●大泉学園
 2018年8月26日 武蔵○ 59-56 ●練馬
 2018年9月 1日 武蔵● 49-78 ○石神井西(ベスト4)

RKMゴルフ会の報告・お知らせ

RKMゴルフ会は昭和25年(1950)の名古屋国体(兼インターハイ)に出場したRKMとお茶の水附属のメンバーが中心となって始まりました。この大会では両校の試合時間が重なり畑先生がお茶の水を優先したのでRKMは敗退したとの逸話が残ってます。RKMと銘打ってますが、お茶の水OGやRKM以外の武蔵OBが参加してます。毎年春と秋の二回開催してます。

2017年秋の大会(11月15日)は「嵐山カントリークラブ(埼玉県嵐山町)」で開催、16名の参加で、優勝：丸瀬宣雄さん(34期)、二位：東恭平さん(31期)、三位：会田正人さん(39期)でした。

また、2018年春の大会(5月23日)は「ブリック&ウッドクラブ(千葉県市原市)」で開催、18名参加、優勝：小林重晴さん(32期、軟式庭球部)、二位：飯島靖樹

さん(36期、軟式庭球部)、三位：岡村道生さん(お茶の水OG岡村光子さんご主人)でした。次回大会でのRKMメンバーの奮起を期待してます。

秋の大会は10月17日(水)に例年の「嵐山カントリークラブ」にて開催します。常連の方々には既にメールにてご案内してますが、本会報をご覧になって参加をご希望の方も遠慮なくご連絡下さい。

なお、春の大会後、平野精士さん(25期)、川浪茂男さん(29期)の後10年間本会幹事を務められた鹿子木雅さん(36期)から、下記2名が幹事を引継ぎました。今後も引き続きご協力よろしくお願いします。

RKMゴルフ会幹事：桑水流正邦(47期)、松本一郎(59期)、連絡先：rkm634@rkm634.jp



2017年秋



2018年春



2017年秋 入賞者

三位 会田正人さん 二位 東 恭平さん 優勝 丸瀬宣雄さん




2018年春 入賞者

二位 飯島靖樹さん 優勝 小林重晴さん 三位 岡村道生さん

期	戦績：東京都新人戦：	
	関東大会：	
	IH：	
	練習日：	合宿地：
期の集合写真を	x x 期 メンバー紹介	
写真の説明（撮影場所やメンバー紹介等）		
中学時代のコーチ：		
<p>【チームの特徴】</p> <p>【オフェンスの特徴】</p> <p>【ディフェンスの特徴】</p> <p>【心に留めていること】</p> <p>・その他（現役への応援メッセージの意味も込められると、なおよいです）</p> <p>（例）下記はこれを読んだ中学コーチや現役の参考としてもらう目的で書いてもらいたい</p> <ul style="list-style-type: none"> ・部活を続けてよかったこと ・チーム/個人がうまくいかないとき、どのように対応したか ・やる気が出ないときの対処法 ・怒られた/ミスをした際のメンタル的な対処法 ・練習やトレーニングで効果的だった方法（技術的な練習も含め） <p>など、自由に書き加えてください。</p>		

50期の記入参考例

<h1>50 期</h1>	戦績：東京都新人戦： 2回戦 67-47東京工業 53-54目黒	
	関東大会：都予選 3回戦 52-50駒大附属 64-60佼成学園 66-80中大附属	
	IH： 都予選 3回戦 69-64都江北 85-64青山学院 58-60都城北	
	練習日：月水金 合宿地：戸塚（日立戸塚）、校内	
	<p>【50期】</p> <p>氏名/身長(cm)/他 渥美 滋/180/F/主将 元岡 康/170/F 三輪 良/168/G 倉川昌之/170/F 畑野祐一/165/G 原田幸二/168/G</p>	<p>【51期】</p> <p>氏名/身長(cm)/他 抜山 晃/180/C 宮武昌一郎/170/G 松原 仁/175/F 佐藤基和/180/F 井町 孝彦/170/G 布目谷 寛/170/G 増田幹生/170/G</p>
	<p>写真後列（51期）佐藤、布目谷、宮武、小口、松原、抜山、畑先生 前列（50期）元岡、安田、原田、倉川、畑野、三輪、渥美</p>	
<p>中学時代のコーチ：荒川 光夫さん（43期）、滝脇庸一郎さん（43期）、畑 正木さん（41期）</p>		
<p>【チームの特徴】</p> <p>平均身長170cmそこそこで、体力に恵まれていない分オフェンスはフォーメーションを多用。フリーオフェンスは殆どなかった。 ディフェンスは3-2ゾーンでコンパクトに守り切る。</p> <p>【オフェンスの特徴】</p> <p>ハッサク、ダブルエイト（ゴール下でフォワード同士がすれ違い、ディフェンスにブロックをかけるフォーメーション）</p> <p>【ディフェンスの特徴】</p> <p>3-2ゾーン、（勝負をかける時に）マンツーマン、三面、2-3フロートゾーン</p> <p>【心に留めていること】</p> <ul style="list-style-type: none"> 決して強いチームではなかったが、バスケットに対する情熱は、インターハイで活躍された先輩たちに負けないものがあると自負しており、バスケットを続けて良かったと思っている。 現役の諸君には、練習が自分たちに納得がいくものであれば、試合の結果にを気にせずに、バスケットに夢中になって欲しい。中途半端な気持ちで練習をして欲しくない。 <p>・ <畑先生に言われて印象に残ったこと></p> <p>「君たちが10の力を持っているとすると、その力は全力を出した時に初めて発揮されるものなんだよ。ちょっと気を抜いてやろうなんて思ったら、8や9の力は出せない。とたんに5以下の力しか出せなくなってしまう。」</p> <p>「決められたある時間でなにかをしようとするならば、その時間はそのことに全力を投入すべきだ。他のことを犠牲にしてあることをやろうと決めたのだから、いい加減な気持ちでやったのでは、犠牲にしたほかのことに対して申し訳ないじゃないか。」</p>		

100周年アーカイブ記録集約

100周年史の準備として、RKMの記録を各年次ごとに集約しています。

本会報6～7頁に掲載している様式に各年次の情報を思い出して記入していただけますよう、よろしく願いいたします。参考例として50期の情報を掲載してあります。各

年次や近い年次の皆さんで集まって話しながら記入していただくのも一つの手段だと思います。

記入していただいたシートは来年の総会でご紹介したいと考えていますので、来年3月末までを目途にご記入いただきたく、よろしくお願いいたします。

元旦バスケ

2018年も恒例の元旦バスケでスタートしました。OB約30名と現役が集まり、二面のコートを活用して汗を流しました。

2019年元旦も【13時集合～15時解散】としますので気軽に足を運んでください。



同窓会主催ホームカミングデイのお知らせ

既に同窓会より周知されてますが、2018年のホームカミングデイは9月22日(土)に開催されます。現役の参加を促すため二学期始業後の周知期間を設けたので、例年より遅めの開催日となっておりますのでご注意ください。一部イベントは13時に始まりますが、**RKMは例年通り14:00開催です。**皆さんお誘い合わせの上、ご参加下さい。

- 14:00～ 現役との交流試合@高中体育館
- 16:15～ フリースロー大会@高中体育館
(上記でプレーされない方も是非どうぞ)
- 16:45～ 集合写真@高中体育館
- 17:00～ 他部との合同懇親会@図書館棟大教室
(懇親会会費:82期まで3千円、83期以降2千円)

また、下記の同窓会主催イベントが新しい理科・特別教室棟の視聴覚室にて開催されます。

(詳細は同窓会会報に同封のチラシをご覧ください)

- 13:30～ 音楽部演奏
- 14:00～ 新棟解説・見学
- 15:00～ 講演:53期・本郷和人氏(東大史料編纂所教授)「今上天皇の退位と新天皇の即位—天皇と日本の歴史」

本記事をご覧になって参加を希望されるかたは桑水流(くわする)までご連絡下さい。

携帯:080-5068-9366

メール: rkm634@rkm634.jp または
ma-kuwazuru@kddi.com 宛メール

会員情報

*本夏発行された武蔵高校同窓会会報第61号の「新制初期の記憶」という特集の中に、26期台座惇人さん(62頁)と29期渡邊誠さん(73-74頁)が「へばったらがんばれ」について寄稿されていますので、ご一読ください。

*日本バスケットボール振興会発行のBasketball Plaza 8月号に「人物抄 鹿子木基員さん」及び「会員だより 日本のバスケットの歴史のひとつこま」の記事があります。近日中に振興会サイトに掲載されますのでご覧下さい。

【物故者】

2017年10月以降に訃報をお受けした方々です。謹んでお悔やみ申し上げます。

28期 西室 泰三 様 2017年10月14日ご逝去

19期 岡部 侠児 様 2018年 1月10日ご逝去

編集後記

- ・中高一貫校の良さを生かし、中学からの長期強化計画支援は新しい取り組みです。ご協力よろしくお願いいたします。 福本
- ・卒業以来、初めて武蔵の公式戦を見て、多くの父兄やOBが見に来ていることを知りました。小林君、お誘いありがとう。 桑田
- ・RKM100周年まで9年、後手後手にならないよう各アクションを確実に進めていきます。 桑水流